

(様式1)

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	千葉県教育委員会		
所在地	千葉県千葉市中央区市場町1-1	運営形態	地域移行:保護者会等運営型
運営主体	大多喜中学校後援会		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情から、外部の任意団体に部活動全体を委ねる体制の構築は難しい。 ・校内の部活動を基盤とし、外部講師を招聘することで教員の負担の軽減を図りたいが、校舎内で活動することによる校舎の解・施錠の問題がある。 ・家庭の事情等、恵まれた家庭だけが恩恵を受けるのではなく、すべての部員が平等に活動できる体制づくりが課題である。 		
事業目標	休日の地域部活動を下記により実施し、持続可能な部活動の運営と教員の負担軽減を図る。 ・移行する部活動数・・・1(吹奏楽) ・地域部活動の実施期間・・・5月～2月 ・活動の頻度・・・実施期間内の週1回(土曜または日曜)3時間以内 ・確保する指導者数・・・外部指導員(常勤及び臨時講師)、兼業教員		
団体・組織等の連携			
拠点校等	大多喜町立大多喜中学校		
活動場所	大多喜町立大多喜中学校		
活動概要	大多喜中学校吹奏楽部は意欲の高い生徒が多く、積極的に活動を行っている。主顧問が家庭の事情で休日の部活動を行うことが難しい。そのため、専門的な知識・技術を持ち、長年、県立高等学校で吹奏楽部の指導をしてきた地域の指導者等に休日の活動を依頼した。		

○本事業による成果

(生徒)

- ・外部講師による専門性の高い指導を受けることができ、意識の高い生徒にとって休日の部活動が充実した。
- ・過去2年間の地域部活動推進事業からの財政支援により、学校・家庭の経済的負担が軽減した。

(教員)

- ・技能面での指導に対する負担が軽減した。

(事業)

- ・学校を練習会場にする上での課題が明らかになった。
- ・事業費の取り扱いについて、謝金の源泉徴収等地域部活動として独立した運営主体となった際の課題が明らかになった。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・休日の部活動を専門的な知識や技術を持っている外部講師から指導を受けることで、質の高い充実した練習を行い、生徒の意欲向上や技術向上を図ることができた。
- ・学校部活動をそのまま休日の地域部活動へ移行することにより、顧問や生徒の取組に一貫性をもつことができるようになった。

○運営上の工夫

- ・学校部活動の参加者がそのまま地域部活動に参加することで、生徒が新たな人間関係を構築するための心理的負担を感じることなく、活動に取り組むことができた。
- ・3年生引退後は参加方式を改め、毎週土曜日実施、自由参加とし、地域部活動への意欲のある生徒を集中的に指導してもらう形にした。(それまでは「学校部活動の延長」というスタイルで運営してきた)

○継続的な運営に関する課題

- ・大きな楽器の移動を考えると、吹奏楽特有の活動場所の課題が生じる。中学校を活動場所とする場合、施設の開、施錠を誰が行うのか、という課題に直面する。週末の活動を学校から切り離すのであれば、教員が関わらずに学校施設を開、施錠できる権限を持った指導者が必要である。
- ・学校単位で地域部活動を実施する場合、生徒数の減少という課題に直面する。人口減少地域での持続的活動は、学校の枠を超えて自治体ごとや郡市レベルでの参加者の広域募集システムを構築する必要がある。
- ・家庭の経済的負担の増大が懸念される。受益者負担を求められた結果、地域部活動への参加を取りやめる家庭が出る可能性がある。
- ・学校部活動と地域部活動との間で参加者が板挟みになる可能性がある。各種大会、コンクールに出場する場合、どちらかの団体を選択する必要がある。チーム、団体によっては欠員を補充できず、大会・コンクールへの参加が不可能となることも考えられる。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

(拠点校について)

- ・令和5年度の地域部活動移行の取り組みでは、運営主体が大多喜町教育委員会となる。
- ・地域指導者を、本校で勤務経験のある元音楽科教員に依頼し、施設管理(学校玄関の開、施錠を含む)を任せる。

(県全体として)

- ・文化部活動の地域移行についてのモデル事業を継続し、文化部活動の地域移行における諸課題について、その解決に向けた取組を進める。
- ・県に1名、文化部活動総括コーディネータを配置し、部活動の地域移行に向けた環境整備について、関係者との連絡・調整に当たる。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	18名
	募集方法	大多喜中学校吹奏楽部に所属する部員から募集
指導者	人数等	元県立高等学校吹奏楽部顧問1名 兼業教員3名
	募集方法	前年度の地域部活動指導者に継続して依頼
参加者の移動手段		保護者送迎、公共交通機関の利用、徒歩 など
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金 1,600円/1時間 ピアノ伴奏料 8,000円/1回
	その他	コンクール等参加バス借上 約60,000円/1回
活動財源	会費	なし
	その他	地域部活動推進事業及び地域文化倶楽部創設支援事業
スケジュール	基本活動	週1回 土曜日または日曜日 1回3時間
	年間	6月～2月まで
保険加入等		なし

【活動の様子（写真添付）】

